

中学校 社会 海の豊かさを守るためにはどうしたらよいか
～海洋プラスチック汚染～

はてな
?

プラスチックは軽くて耐久性があり、しかも安く生産できるなどのメリットがあり、日常のさまざまな場面で使われています。世界のプラスチックの生産量は年々増加しています。しかし近年、海洋プラスチックごみによる環境汚染が問題になっています。この問題を解決するために、世界の国々はどのような取組をしているのでしょうか？

海洋プラスチック汚染の現状

海洋プラスチックによる海洋汚染は、世界中の海に広がっています。すでに、世界には1億5000万トンのプラスチックごみが存在し、さらに毎年800万トンが新たに流入していると言われています。これらの海洋プラスチックは、美しい景観を損ねるだけでなく、海洋生物が餌と間違えて食べてしまい、生態系を壊してしまいます。

2019年に日本で開かれたG20サミットでは、海洋へのプラスチックごみ、マイクロプラスチック（直径5mm以下のプラスチック）の流出の抑制及び大幅な削減のための行動の必要性が確認されました。



各国の取り組み例の紹介

<日本>

- ・2007年7月から、すべての小売店でレジの有料化が義務付けられました。また、2018年5月からA企業において、ラベルのないミネラルウォーターを通信販売限定で発売しています。ラベルをはがして分別する手間と廃棄物削減を追求しました。

<EU>

- ・2019年3月、EUの欧州議会は、海洋プラスチック問題の原因となっている使い捨てプラスチックの使用を禁止する法案を可決しました。これにより、2021年からストロー、マドラー、食器などの使用が全面的に禁止されています。

海の豊かさを守るための提言

海洋プラスチック汚染は、特定の国や地域だけの問題ではありません。世界の国々と共に取り組んでいく必要があります。海洋プラスチックごみをなくすためには、どうしたらよいかを考えてみましょう。

【考える視点：効率、公正、協調、持続可能性など】



*一人ひとりが考えたことをもとに、仲間とよりよい解決方法を選択・判断してみましょう。